

エボニック、米国で新規医薬用脂質製造施設を着工 RNA 治療薬のドラッグデリバリーにおける主導的地位を強化

2023 年 4 月 11 日

- RNA 医薬品用機能性添加剤のグローバル供給を確保するための施策
- 米国政府と協定を締結し、米国のバイオ医薬品産業の振興とパンデミック対策の確保
- 2025 年操業開始予定

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、2.2 億ドルを投じ、米国インディアナ州ラファイエットで、グローバル規模の医療用特殊脂質製造施設の建設を開始しました。この新設により、医薬業界に向けた、mRNA ワクチンなどの核酸治療薬に欠かかせない重要な添加剤の供給確保を目指します。操業開始は 2025 年の予定です。

取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「この脂質イノベーションセンターの新設は、未来のヘルスイノベーションに貢献するものです。この投資を行うことで、エボニックの製薬業界におけるリーディングポジションを強化します。またパンデミック対策で米国を支援し、最先端の医薬品の開発ができることを光栄に思います」と述べています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックの際、エボニックは主要なワクチンメーカーが必要とする機能性添加剤の供給を確保する上で、重要な役割を果たしました。エボニックのヘルスケア部は、ケアソリューションズ部とアニマルニュートリション部とともに、ライフサイエンス事業を展開するニュートリション&ケア部門に属しており、強力なバイオテクノロジー・プラットフォームを活用しています。

ニュートリション & ケア部門責任者 ヨハン - カスパー・ガメルン(Johann-Caspar Gammel)は、「このグローバル規模の新施設は、製薬業界における受託開発製造企業(CDMO)としての、エボニック独自のポジションを強化するものです。開発の量や規模の大きさ、処方やフィルフィニッシュ(無菌充填)など、全工程において、RNA 医薬品分野のパートナーはエボニックに信頼を寄せています」とコメントしています。

商業規模の脂質施設への総投資額は 2.2 億ドルにのびります。米国政府は、米国保健福祉省(HHS)の戦略的準備・対応管理局(ASPR)の一部局である米国生物医学先端研究開発局(BARDA)を通じて、最大 1.5 億ドルの資金を負担する協力協定をエボニックと締結しました。BARDA は、米国防総省(DOD)

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

の化学・生物・放射性物質・核防衛統合計画事務局 (JPEO-CBRND) と協力して取得支援の調整を行いました。

エボニックの脂質イノベーションセンターは、世界最大級の医薬品原薬 (API) 受託製造施設の一つであり、エボニックにとって米国で 2 番目に大きな拠点である、ティピカヌーの敷地内に建設されます。柔軟に開発・製造を行うこの新施設では、感染症対策、がん免疫療法、タンパク質代替、遺伝子療法における RNA 技術の将来の応用に向けて、高い品質基準に従って様々な特殊脂質の迅速なスケールアップと製造が可能です。

2023 年 3 月初め、エボニックは、少量バッチサイズの脂質を開発・製造する cGMP 対応施設をドイツ・ハナウに新設しました。この脂質製造施設は、臨床および小規模商業生産に必要な量の脂質をお客様に提供します。この施設を開設したことで、カナダ・バンクーバー研究所でのリポソーム製剤の治験薬製造能力、米国アラバマ州バーミングラム工場におけるリポソーム製剤の製造・フィルフィニッシュ能力など、エボニックの既存の研究所および商業生産ネットワークを補完します。

2023 年 3 月 29 日に行われた起工式には、米国連邦政府代表者、インディアナ州知事のエリック・ホルコム (Eric Holcomb)、ラファイエット地区の地元関係者が出席し、エボニックからは取締役会長クリスチャン・クルマン (Christian Kullmann) および取締役会・監査役会のメンバーも参加しました。

本プロジェクトは、契約番号 W58P052220006 のもと、米国保健福祉省の戦略的準備・対応管理局 (ASPR) の一部である米国生物医学先端研究開発局 (BARDA) から提供される連邦資金を、プロジェクト資金の全部または一部に充て実施されます。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2022年度は、185億ユーロの売上、24.9億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、34,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2022年度は、37.8億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,200人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2023年3月29日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)